



第95号
 発行 者連合会
 宮私幼PTA連合会
 (会長) 佐々木 幸士
 編集 者員
 広報 員
 事務局
 仙台市青葉区国分町三丁目6-12
 佐正第二ビル6F
 電話 (022)263-7040 番



**震災復興から新たなステージへ
 くみやぎの未来を担う礎**

宮城県私立幼稚園PTA連合会
 会長 佐々木 幸士

三月はいつの年も旅立ちと別れ、そして次に迎える新たな挑戦と出会いに複雑な思いが入り混じる毎日を過ごす月です。

そして、宮城県民の私たちにとりまわしては決して忘れることのない東日本大震災が発災した三月十一日を迎える月でもあります。本連合会に関わる全ての人にとりましても、それぞれに大変な経験をし、今なおその傷が癒えない方もいることと存じます。

あの震災から九年の月日が経とうとしております。宮城県では平成二十三年から十年間、「宮城県震災復興計画」に基づき、復興の歩みを進めてまいりました。そして四月には復興計画の最後の年度を迎えることとなります。

現在、県議会ではこの復興計画完了後の宮城県の様々な分野にわたる各施策の在り方を議論しているところがございます。その議論の大きな軸になっているのは、次の世代に負担や課題を先送りすることなく、一人でも多くの方々に

「学びたい・働きたい・暮らしたい」と思ってもらえる地域社会をつくることであり、そのような一人ひとりの思いがみやぎの未来を担う礎になるものと考えております。

そして、子育ての現場の充実こそが、未来を担う子供を育て、今の時代をつくる親を支えるものとして、何より重要なものであると考えます。子育て環境の整備に向け、さらなる支援の拡充を図ることが宮城県の未来をつくること、そのことに直結することとして、本連合会における活動も、震災復興からのみやぎの未来の創造には欠かせないものがあります。皆さまのさらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

昨年十月から幼児教育保育無償化がスタートいたしました。まだまだ制度としての充実の必要性を皆さまからの声としても頂戴しております。「幼児の幸福増進」、本連合会の活動の原点でもあるこの目的実現のためにも、皆さまとともに引き続き活動してまいりたいと存じます。

**第四十四回宮私幼PTA
 親善バレーボール大会**

今年度も十一月六日(水)に、十四回目となる親善バレーボール大会を、グランディ21を会場として開催いたしました。合同チームを含む五十七チームが参加して、六つのブロックに分かれて熱戦が繰り広げられました。各ブロックの優勝、準優勝チームは次の通りです。

コート	優勝	準優勝
A	すがわら	成田中央
B	西多賀	ろりぼっぷ
C	福聚	わかくさ
D	東北学院	しげる
E	みやぎ	いずみ松陵
F	多賀城高崎	愛子



**第三十四回全日本私立幼稚園
 PTA連合会全国大会**



十二月十日(火)にホテルオークラ東京において全日本私立幼稚園PTA連合会全国大会が、千人以上の関係者が参加して開催されました。宮私幼PTA連合会を代表して若名美穂副会長以下三名が、宮私幼連合会の村山十五会長と共に参加いたしました。

第一部では安倍晋三首相はじめ多数の来賓の列席のもと、子どもたちへの家庭教育の向上・幼児教育の振興を誓う大会宣言が採択されました。休憩をはさみ、第二部ではZホールディングスCEOの川邊健太郎氏によるAI時代における教育のあるべき姿を展望する記念講演が行なわれました。



**宮城県知事・県議会議長
 への要望活動**

令和二年一月十四日(火)に宮私幼連合会・宮私幼PTA連合会の代表二十二名、園児代表三名が宮城県庁を訪問して、村井嘉浩県知事、石川光次郎県議会議長に面会し要望書を提出しました。

要望の内容は、「全国で下位にある私学運営費補助の改善」「私立幼稚園の教員確保のための処遇改善への追加助成」「私立学校特別支援教育費補助金の拡充」「夏季の気温上昇に対応するためのエアコン設置費用への補助」の四点です。

知事・議長からは前向きに検討していく旨の回答をいただきました。



地区だより

登米地区

親子ふれあいサッカー教室

さくら幼稚園(P) 佐藤 早苗



登米地区PTA親睦会では、毎年三園合同行事を行っています。

今年、宮城県サッカー協会さんに来ていただき、「親子サッカーふれあい教室」を開催しました。子ども達が興奮するような人工芝のサッカー場を予定していましたが、前日の雨の影響で室内での開催となり残念でしたが、子ども達はどうな空間でも楽しんでくれますね！

最初は緊張気味だった子ども達でしたが、サッカー協会の二名のコーチと、お父さんお母さんと一緒に汗だくになりながら、ボールを追いかけていました。ボール遊びは、親子でふれあえるプログラムが組まれており、私も娘と参加し運動不足を実感しつつも、身体を使ってコミュニケーションを取ることがうれしかった娘は笑顔が絶えませんでした。周りを見渡しても参加して下さった皆さんも親子でニコニコ笑いあう姿が印象的でした。サッカー教室を企画して良かったと思えた瞬間です！最後には、親子対決ミニゲームが

あり、「子ども達チーム本気です！お父さんお母さんチーム空気を读みましよう」とユーモアあるコーチの一言で子ども達は、勝つことの喜びを得たと思います。

サッカー教室終了後には、「また、このような教室があるなら、是非参加したいです」「子どもがサッカー楽しかったようでスクールやチームがあれば習わせたいです」等々、うれしいお言葉をいただきました。私事ですが、中学2年生の息子がおり、さくら幼稚園卒園後、小学一年生からサッカー協会さんの3年間のプログラムに参加していました。きっかけが今回のような親子サッカー教室でした。今でもサッカーだけは何よりも好きで部活動も頑張っています。今回の親睦会をきっかけに人と人が繋がり、そしてサッカーに興味を持っていただけたことにとてもうれ



しく思いました。スポーツは、心身を成長させてくれると私は思っています。挨拶、礼儀、友達を思いやる心、それでももちろん身体の成長です。

今回のサッカー教室をきっかけに人でも多くスポーツに興味を持つ子が増えることを望みつつ、娘にもスポーツの楽しさを伝えていきたいと思っています。

親子音楽会

さくら幼稚園(P) 鈴木 未来



さくら幼稚園では、毎年十二月に「親子音楽会」が水の里ホールで行われます。

その名の通り、園児たちの可愛らしい歌が披露されるだけでなく、おうちの方も一緒に歌を歌ったりと、親子で音楽を楽しめるさくら幼稚園ならではのイベントです。お楽しみはそれだけではなく、バイオリンの演奏、ゲストの唄や演奏、パ



サンタさん達からのプレゼントなど盛り沢山で、子ども達も毎年楽しみにしています。

中でも父母の会役員によるパフォーマンスは、お母さん達にとって一大イベントとなっております。アイデアを出し合い丸となって一つのステージを作り上げます。

一昨年は、シンガーソングライターの水水明さんの生歌に合わせてバックダンサーをさせていただきました。登米市ならではの楽しい歌ばかりで、「はつと汁」の歌ではスペシャルゲストの「はつとん」登場で、園児たちは大喜び、盛大な拍手をいただくことができました。忙しいなかでの練習ではありましたが、子ども達の笑顔を見ると頑張ったと達成感を味わえる、忘れられない行事となりました。

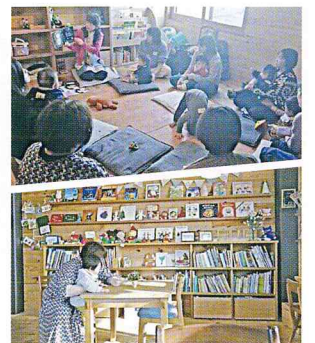
このような機会を与えてくださる園長先生を始め、先生方に感謝して、今後も一生懸命思い出に残るステージに努め、役員としても支えていきたいと思っています。

登米市のパワースポット

さくら幼稚園(P) 沼倉 由美



最近、登米市のママはとってもパワフルでアクティブな方が多いと感じます。各町にある子育て支援センターが充実していることもあり、市内には子育て中のママが集える素敵な場所がたくさんあるからかもしれません。子育て中はずいぶん自分のこ



とは後回しにしがちですが、少しでも自分の時間を持つことはママにとって、とても大事なことです。知る人ぞ知る、不思議とママの夢や願いが叶っちゃう？というパワースポットをご紹介します。えほんカフェおひさまの国は親子で絵本を楽しめる素敵なカフェ。子連れにうれしい小上がりもあり、ゆったり過ごせます。ここではママが講師として、参加者としてチャレンジできる講座やワークショップも開催。作品を販売するスペースもあり、たくさんママが活躍しています。オーナーの堀田さん自身、子育て中に感じた不自由さからNPO法人を立ち上げ、長年、登米市の子育て支援を牽引されてきた方。お店のメニューも家庭的だけどおしやれなママランチで、看板メニューは絵本から飛び出したかのようなふわふわのパンケーキ！焼き上がりまでの時間、子どもと一緒に絵本を読みながら待つのも楽しいですよ。ぜひ訪れてみてください！

「えほんカフェおひさまの国」

〒九八七〇一五

登米市迫町佐沼字中江

五十一一八 中江開発ビル

☎ 〇二二〇(二三) 八七六六

● お隣さんありがとう ●

愛耕幼稚園(P) 小野寺圭恵



うちの三男はとても人懐っこく、いないと思うと隣のお宅に一人で遊びにいってしまいます。親としては、ご挨拶はきちんとして!とか、よそのお宅に勝手に入らない!とか、色々注意はたくさんあるし、何より幼稚園の子どもをほったらかしにするわけにもいかないので、謝りながら迎えに行きすぐに家に連れて帰ろうとします。でもお隣さんは「いいから、いいから、ゆっくり遊ばせて。何も悪いことしてないよ。」と。子どもを預けて遊んでもらうわけにもいかず立ち話をしていると、「子どもはね、何も悪くないんだよ。よそのうちに来て見たことないもの見たら、見てみたいって思うのが当たり前。見せてあげなよ。悪いのはみんな大人。あれもダメ、これもダメって言って、こどもの好奇心を奪うんだもの。命にかかわるようなよほどのことでない限りは自由にさせな。」って。なんておおらかな、そして心にチクッと刺さるお言葉でした。確かに、私は大人の都合でダメを言うことが多いし、世間体を気にしすぎて子どもの自由な行動を制限していることもたくさんありました。成長するにつれて常識が身につくと幼稚園の頃のような自由さはなくなっていきます。今だけの自由を最大限守ってあげたいと気づかせていただいた出来事でした。

● ひとつの家族、カトリック幼稚園 ●

気仙沼カトリック幼稚園(P) 渡邊 賢哉



私たちの住む気仙沼では今年、本土と気仙沼大島をつなぐ「気仙沼大島大橋」通称「鶴亀大橋」が開通し話題となりました。震災を乗り越え、一步一步復興へと前を向く我が町気仙沼の大きな明るいニュースの一つ。

先日、子供と自家製のマヨネーズを作る機会がありました。作り方は簡単。卵黄と調味料とサラダ油をよーく混ぜ混ぜして完成。手軽にできちゃうマヨネーズを眺めながら、ふと頭に浮かぶ先人からのメッセージ「水と油」。ただそれは、決して混ざり合わないものではないのだと気づく瞬間でした。

PTAは私たち保護者と幼稚園の先生方の大切な活動。言うまでもなく、私たちと先生方の役割は違えど、私たち保護者は日々絶大な信頼をおく気仙沼カトリック幼稚園の先生方の力に少しでもなれるよう、子ども達のキラキラ笑顔が一瞬でも増えるようにと思い取り組んでいます。これまで同様、子供たちのために保護者と先生方で連携を密に協力していければと思っています。よーく混ぜ混ぜして気仙沼カトリックマヨネーズになるようにと…

大島大橋が本土と大島をつないだように、子ども達の明るい未来を私たちがしっかりとつなげていけるように今後も活動していきたいと思います。

気仙沼カトリック幼稚園は決して大きな園ではありませんが、一つの家族のように皆で支え合って日々過ごしています。



保育園とのふれあい



孫パワー炸裂中!



大島大橋「鶴亀大橋」

気仙沼地区

● 未来へバトンを繋ぐ教育 ●

葦の芽幼稚園(P) 菊地 元三



私の子ども達が現在の葦の芽幼稚園にお世話になり、長女は早くも年長組です。卒園、入学に向けての準備が慌ただしいこの頃で、時のたつのは早いと感じさせられる日々です。

入園時は走ることも、お話しや、友達とのコミュニケーションすらままならない小さな子が、現在では友達と協力して活動したり自分の意見がはっきり伝えられるようになりました。

家では、仕事の忙しさを理由に子供と向き合う時間がしっかりとれているか不安が残るところではありますが、幼稚園の活動を通して成長していく子ども達の背中を見ていると、幼稚園の先生方は、教育という魔法を習得しているのかと度々驚かされます。幼稚園の先生方との出会いや今後、様々な出会いがあり、子ども達が成長し大人になります。その子ども達が家族をもった時に安心して子育てできる環境というもの最近では子どもの成長と共に考えさせられます。未だ震災の影響もあり、人口流出が進んでいる気仙沼市ではありますが、地域みんなで協力して魅力ある地域を子ども達の未来のため今何をすべきかを考え、実行していく必要があるのだと考えます。

● 子どもたちは魔法使い ●

葦の芽星谷幼稚園(P) 菅原 浩平



私はケアマネジャーをしています。ご高齢で、生活にお手伝いが必要になった方に、介護サービス等をコーディネートする仕事です。当然といえば当然ですが、仕事の中で子どもと関わることはほとんどありません。

私の職場が特別養護老人ホームと併設しているのですが、その施設で毎年、気仙沼市内の保育園の子どもたちがやってきて、歌や踊りを披露し、施設の方と触れ合う行事があります。

普段から笑顔で過ごされている施設のおじいちゃん・おばあちゃんも、子どもを前にするとやはり、目の輝きが違います。そして、それはそれは甘い声で「なんと、めんこいごどな〜」と言うのです。私たち職員だけでは、どう頑張ってもこの声は引き出せません。これぞ孫パワー(実の孫じゃありませんが)。

その時の話を伺っている時のおばあちゃんも、直前まで横になって休まれていたのに、声を張り上げて、幸せそうな笑顔を見せてくださいました。

子どもたちの笑顔や元気な声というのは、もはや魔法です。折に触れ、その素敵な力に、私もほっこりさせてもらっています。

石巻地区

鳴瀬幼稚園（P）

大友 一 希

今年度から宮私幼石巻地区PTA会長をさせていただいており、鳴瀬幼稚園後援会会長の友人と申します。保護者の皆様には日頃からPTA活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

今年度も、残すところあとわずかとなりました。今後とも負担をおかけすることもあるかと思いますが、他の役員の方と共に頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

この度、宮私幼PTAだよりの一頁を任せていただくこととなりました。

お恥ずかしながら、このように記事を書くことは滅多にないことなので、お見苦しいところも多々あることは存じますがご了承くださいとありがたいです。

さて、何を書くのかしばらく考えていました。

そこで、私の住んでいる東松島市にあるオスメの観光スポットを紹介したいと思います。

東松島の海岸部には、矢本海浜緑地という公園があります。

私も子どもの頃にはよく親に連れていってもらい遊んだ思い出のある場所です。

しかし、平成二十三年の東日本

大震災の津波により壊滅的な被害を受け、閉園を余儀なくされました。

その後の造成工事により、元のあった場所から少し移動して、平成三十一年四月二十六日に再開園しました。再開園のニュースを見たときは、子どもの頃の楽しかった思い出がよみがえりとてもうれしくなったのを覚えております。

この公演は東西に分かれていて、東側にはパークゴルフ場と休養施設のクラブハウス、西側には芝生公園やバーベキュー広場などいろいろな遊び場があります。

まず、東側のパークゴルフ場は、敷地八ヘクタールに総五十四ホールもあり、これは県内最大級の数とバラエティ豊かなコース設計で一日がかりで楽しめるように工夫されています。

また、近くにはブルーインパル



スがある松島基地があるので、飛行の練習や演習をやっている時間帯ならば、ブルーインパルスを見ながらのプレイができるのも醍醐味だと思います。

西側にはレクリエーションゾ



ンとして遊具広場の遊具で遊んだり、芝生広場で思いっきり走り回ったりできます。駐車場からも安全な距離があるので安心して子どもを遊ばせることができます。ネットクライミング、ロープウェイ、四連ブランコなど様々な遊具があり、子どもたちも喜ぶことだと思います。

夏場になると噴水エリアも稼働するので水着で子どもを遊ばせるのもいいのではないのでしょうか。また、バーベキューエリアも併設されており、野外卓九台、炊事場もあるのでおススメです。



まだまだ細かいことは伝えきれませんが、詳しくは公式ホームページもありますので、子どもから大人まで楽しめる矢本海浜緑地公園に家族でお出かけしてみたいかがでしょうか。



お知らせ

令和二年度行事予定

▼宮私幼PTA総会
期日 令和2年6月2日(火)
会場 仙台市民会館小ホール

▼宮私幼教育振興大会並びにPTA研修大会
期日 令和2年6月23日(火)
会場 東京エレクトロンホール宮城 (宮城県民会館) 大ホール

▼宮私幼PTA親善ハレーボール大会
期日 令和2年10月14日(水)
会場 セキスイハイムスーパーアリーナ (利府町・グランディ21)

令和元年度編集委員

- 副会長 渡辺 勝幸 (六 郷P)
- 副会長 横澤 行夫 (おん形荘第1T)
- 広報部長 佐々木拓真 (ギルフルT)
- 広報副部長 風間 文静 (ひかりT)
- 広報部員 関 直之 (ひかりP)
- 広報部員 藤田 和枝 (葦の芽星谷T)
- 広報部員 菅原 浩平 (葦の芽星谷P)
- 広報部員 片岡 大助 (さくらT)
- 広報部員 佐藤 早苗 (さくらP)
- 広報部員 阿部 貴子 (鳴 瀬P)
- 広報部員 大友 一希 (鳴 瀬P)

あとがき

宮私幼PTAだより第九十五号をお届けいたします。今年度は紙面を大幅にリニューアルして、編集委員の所属する各地区からの記事を中心に構成いたしました。いかがだったでしょうか。地区ごとに特色のある紙面になったように思います。ご寄稿いただきました皆様、ありがとうございました。

(広報部長)